

2022年度 NPO 法人女性ネット Saya-Saya 事業計画書

2022年4月1日

2022年度は、新型コロナウイルスも、ワクチンの普及により少し、脅威を感じなくなった様相ではあるが、まだまだ予断を許さない状況でもある。引き続き、各プログラムは、状況を見ながら人数制限しつつ、開催予定。利用者の安全・健康を第一優先にしながら、支援事業をすすめたい。

内閣府のパイロット事業・交付金は3年目になり、今後の方向性にもよるが、引き続き事業の拡大充実をめざし、人材雇用も継続する。今年度から、北区による「女性のためのライン相談 To U」の事業を委託。週二回、アウトリーチも入った事業を受ける。

昨年度に引き続き、内閣府のDV相談+への協力、江戸川区「人権・男女共同参画推進センター」のDV相談委託、江戸川区児童相談所のDV相談の委託を実施予定。また、引き続き、荒川区子ども家庭総合センターより「安心子育て訪問事業」の一環として、要支援家庭に訪問員を派遣する依頼を受け実施予定。「家庭訪問型子育て支援・ホームスタート」を実施しているが、コロナ禍で人数に制限があるものの、今年度も引き続き実施予定。DVから離れた後のシングルマザーの子育ては、様々な困難を長期的に抱えている。地域の中の高葛藤、虐待などのハイリスクを抱えた家庭に、訪問員を派遣するために、「訪問ボランティア」を育成のための講座を実施予定。

また、個人情報保護条例に基づき、個人情報保護に関する研修をNPOに関わる人全員を対象に、継続的に実施予定。相談事業については、電話相談、DVライン相談、思春期ライン相談、個人カウンセリング、子どもセラピーなどすべての相談に、電子カルテ「カルテリオ」のシステムを引き続き実施予定。

<凧ring>プログラム、<燦Sun>プログラム、ステップハウス、各種講座、就労支援のカフェ・ミモザ、荒川区の補助金事業・子育て交流サロンami-amiなどを実施予定。

今年度は、イヴ・サンローラン・ボーデとの協働で、チェンジプログラムを大幅に強化。大学、高校などの生徒、受益者数2万人を目指し、チェンジプログラムを実施できるスタッフの養成講座も実施予定である。

1) DV被害にあった女性と子どものための支援プログラム・凧(Ring)

～生きていくための力をはぐくむプログラム～

夏の母と子のワークショップ／思春期ワークショップ／びーらぶプログラム

てらこやミモザ(子どもの居場所・学習支援・食事提供)／ミモザ塾(子どもの学習支援)

子どもたちと女たちのクリスマス会／DV被害者支援養成講座／びーらぶインストラクター養成講座／スキルアップ講座

2) DV被害女性の自立支援プロジェクト・燦(SUN)

3) ステップハウス運営事業(都内2か所、都外3か所)

4) 相談事業

無料電話相談／有料カウンセリング&子どものセラピー／ボディーワーク／思春期ライン相談／DV専門ライン相談

5) 行政委託及び補助金事業

6) 地域予防啓発ユニット

・暴力防止ユースプログラム「チェンジ」

7) 就労支援事業(カフェ・ミモザ)

8) ami-ami 子育て交流サロン運営

9) 家庭訪問型子育て支援事業(ホームスタート)

10) 安心子育て訪問事業

11) 講演活動など